

2025 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社バルコス  
(コード番号 7790 名証ネクスト)  
代表者名 代表取締役社長 山本 敬  
問合せ先 執行役員管理部長 佐伯 英樹  
TEL 0858-48-1440  
URL <https://www.barcos.jp/>

**2025 年 12 月期通期業績予想の修正及び中期経営計画策定に関するお知らせ**

当社は、本日 2025 年 11 月 14 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 15 日に公表いたしました 2025 年 12 月期（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、中期経営計画～300 億企業への道標～を策定いたしましたので、お知らせいたします。

## 1. 2025 年 12 月期 通期業績予想の修正

|                              | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------------------------|-----------------|
|                              | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円                     | 円 銭             |
| 前回発表予想 (A)                   | 5,525 | 281   | 277   | 169                     | 141.47          |
| 今回修正予想 (B)                   | 5,525 | 100   | 100   | 50                      | 41.62           |
| 増減額 (B - A)                  | —     | △181  | △177  | △119                    | —               |
| 増減率 (%)                      | —     | △64.4 | △63.9 | △70.4                   | —               |
| (ご参考) 前期通期実績<br>2024 年 12 月期 | 5,023 | 255   | 251   | 153                     | 134.71          |

## 2. 修正の理由

売上高については、概ね計画どおりに推移しており、前回予想からの変更はありません。

一方、損益面では、M&A 関連の先行投資により各段階利益が一時的に減少しております。これは中期的な成長戦略の実現に向けた先行投資であり、今後は参加企業を加えた新たな企業グループの成長によって、収益の改善・拡大を計画しております。

### 3. 中期経営計画～300 億企業への道標～の策定

当社グループは次世代の成長戦略としてM&Aによるグループ事業の強靱化を推進しております。当社グループが強みを持つ「商品力」「販促力」「販売力」を最大限活かしたバルコスプラットフォームを構築し、新たな事業参加者を取り込むことでグループ機能補完を図り成長を加速させるビジネスモデルを目指しております。このプラットフォーム構築準備が完了したことで、中期経営計画～300 億企業への道標～の策定に至りました。

バルコスプラットフォームは、グループ各社が保有する「商品力」「販促力」「販売力」を各々が補完しあい、単独では実現できなかったビジネスを展開できる仕組みですが、2023年にグループインした株式会社BFLATは、その後特に大きく成長しており、売上高は当時から約1.5倍に達する見込みとなっております。

今年度は、2月に上質なデイリーウェアを展開するアパレルブランドのマリンフランセーズ事業がグループインしました。同事業は粗利率が低く商品力に課題を抱えておりますが、当社グループの商品力の強みを活用することで、収益性改善を図ってまいります。

10月には高い商品力を有する株式会社藤本コーポレーションがグループインしました。同社は現在、主にBtoB向けに事業を展開していますが、今後は当社グループの販促力、販売力を組み合わせることでBtoC分野へと事業を展開し、売上・利益の拡大を見込んでおります。

これらの取り組みを通じ、当社グループは「プラットフォームが整備され、M&Aを本格的に推進できる段階に入った」と確信しております。今後は、これまで以上に積極的なM&Aを推進し、さらなる事業規模拡大と企業価値向上を図る段階へと移行してまいります。

詳細については、本日発表の「中期経営計画～300 億企業への道標～」をご参照ください。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上